

# 4月の果実の見通し

令和2年3月31日現在  
山形県東京事務所

品目	区分	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
			前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
いちご類		栃木 福岡 静岡 佐賀 など	4912	100%	4575	1096	安い～平 年並み	1035	-	-	3月上旬から徐々に3果房が増え始め、4月上旬は各品種とも数量増となる。気温が高くなることでイタミ果の発生が多くなり、品質重視の出荷となる。 中旬以降は、着果が早まることで小玉果比率が高まり、入荷量は減少傾向に入る。産地によっては5果房が連続出荷に入ってくる。
メロン類		熊本 茨城 など	790	105%	901	788	安い～平 年並み	755	-	-	3月下旬から熊本県産春メロンの出荷が本格化、4月は増加で推移し、ピークは4月下旬～5月下旬。茨城県産「オトメ」も同時期にピークを迎える。 アールスメロンの作柄は、天候が安定したことから徐々に回復傾向。3月中・下旬に冬系が終了、大玉系が多い。4月は春系に切り替わり、標準的な大きさに戻る。上位等級の比率が高くなるが、業務需要の動きは急な回復は難しく、安値基調での推移と見込まれる。
すいか類		熊本 茨城 など	2332	105%	2175	336	安い～平 年並み	329	-	-	前年の4月は、入荷量が一時的に減少したが、本年産は順調な出回り。 年明けから気温が高く推移しているが、業務需要の低迷で荷動きはいまひとつ。 4月は気温の上昇とともに3月より引き合い強まるが、価格は前年並み。
マンゴー		宮崎 など	69	95%	53	3651	平年並み	3955	-	-	宮崎県産の生育は平年並み。4月は増加で推移し、ピークは5月中旬～6月下旬(2018年産並み)。玉伸びは良好で2L中心、色回りも順調。生育は前年より緩慢だが、出荷量は前年並み。 鹿児島県産の京浜市場での販売は4月当初の予定。生育は平年並み、増量ペースは前年より緩慢だが、入荷量はやや減少から前年並み。 価格は、「母の日」に向けてギフト需要は活発化するが、不足感がないため平年よりやや安く前年並み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)